

補助工法

浸入水対策
R止水工法

特許により守られている不明水対策

応用モデル…本管更生後、
管口の浸入水対策。



本管を更生後
管口からの浸入水を止める方法

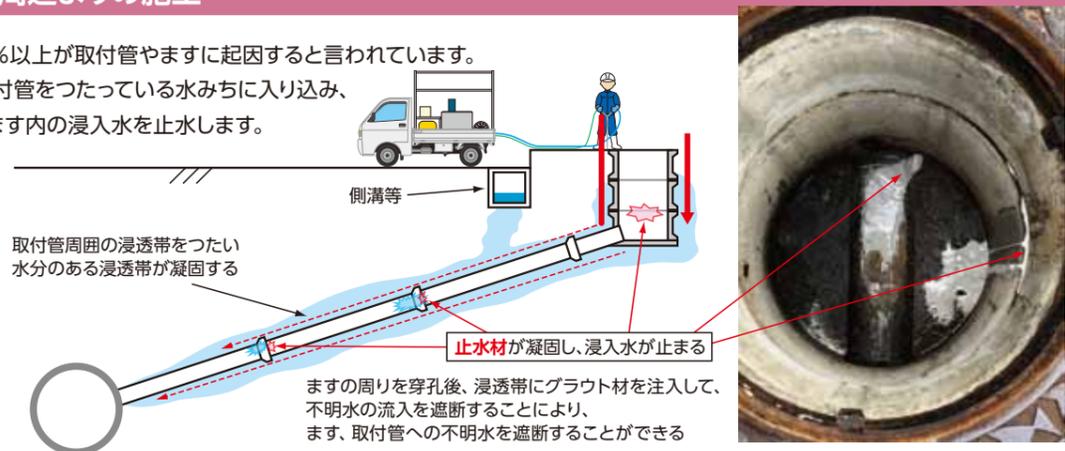
本管管口の上部付近のヒビ割れ
等にノズルを差し込み、
止水剤を注入することにより
管口からの浸入水の止水を行う。



R止水工事車両 (軽トラック搭載)

1. まず周辺よりの施工

不明水の75%以上が取付管やますに起因すると言われています。
R止水は、取付管をつたっての水みちに入り込み、
取付管内やます内の浸入水を止水します。

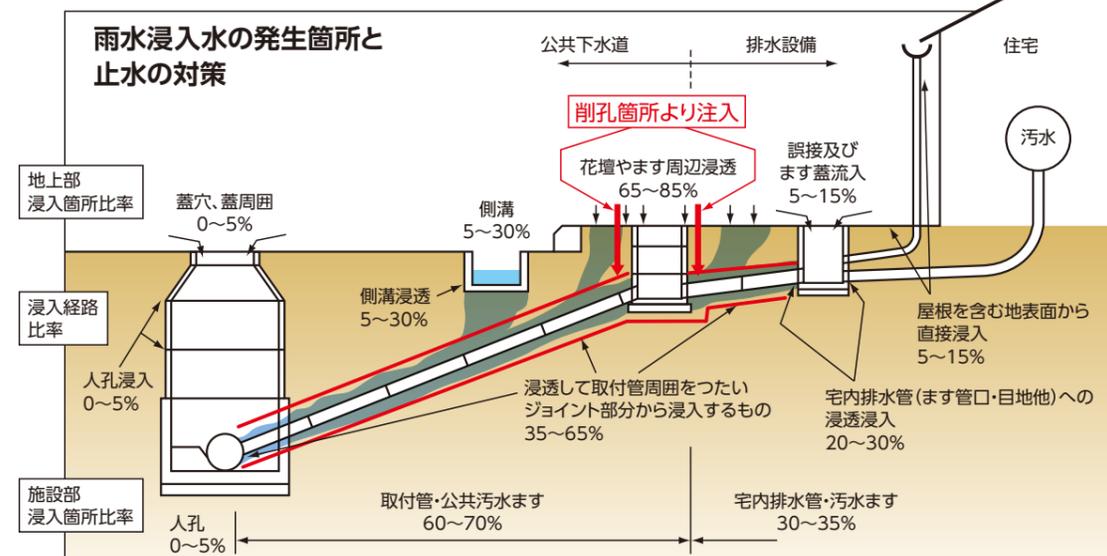


2. 人孔からのY字管注入

R止水工法で使用する材料については、
従来工法であるY字管注入にも適して
おり、止水性、強度、耐水性に優れた
品質の注入材です。



基本モデル…不明水対策として、事前の流水調査後、必要部分に止水剤を
注入、その後、確認のため再度流入調査を行う。



1. 注入孔の削孔



2. ノズルを差し込み注入



3. 止水剤流出確認



4. 目詰め、清掃

作業フローシート

